イ　入札及び開札の日時、場所

(ｱ)　電子入札システムによる入札の締切りは、平成28年３月３日（木）午後１時まで。

(ｲ)　持参の場合は、平成28年３月３日(木)午後１時までに当機構鉄道建設本部九州新幹線建設局契約課に提出すること。

(ｳ)　郵送による入札書の提出期限は、平成28年３月３日（木）午後１時必着（郵送による入札書の提出場所は、当機構鉄道建設本部九州新幹線建設局契約課）。

(ｴ)　開札は、平成28年３月４日（金）午前10時00分。当機構鉄道建設本部九州新幹線建設局にて行う。

(5)　工事費内訳書の提出方法　第１回の入札に際しては、入札書に記載された金額に対応した工事費内訳書を次により提出すること。なお、提出された工事費内訳書は、入札書提出期限後直ちに確認するとともに、必要に応じ公正取引委員会に提出する場合がある。

ア　電子入札システムにより入札書を提出する場合は、入札書に工事費内訳書のファイルを添付し同時送付すること。ただし、工事費内訳書ファイルの容量が２ＭＢを超える場合は、別途、郵送（配達証明郵便に限る。）又は持参すること。

イ　上記１(10)により契約担当役から承諾を得て紙入札へ移行した場合は、工事費内訳書を表封筒と入札書を入れた中封筒の間に入れて、表封筒及び中封筒に各々封緘して郵送又は持参すること。

(6)　入札執行回数　入札執行回数は、原則として２回を限度とする。

(7)　入札の辞退　入札参加者は、入札の執行完了に至るまではいつでも入札を辞退することができる。ただし、辞退者に対し詳細な辞退理由書及びその裏付けとなる客観的な資料の提出並びにその内容について説明を求める場合があるので、その場合は、辞退者はこれを拒否することができないものとし、拒否した場合は不誠実な行為とみなして指名停止等の措置を行うことがある。なお、入札を辞退した者は、辞退を理由として、以後の指名等において不利益を受けることはない。

5　その他

(1)　手続きにおいて使用する言語及び通貨　日本語及び日本国通貨に限る。

(2)　入札保証金及び契約保証金

ア　入札保証金　免除

イ　契約保証金　請負代金額の10分の３以上（保証金納付箇所　三井住友銀行ベイサイド支店）ただし、銀行又は保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第２条第４項に規定する保証事業会社をいう。)の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。なお、公共工事履行保証証券による保証を付し又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。

(3)　入札の無効　以下のいずれかに該当する入札は無効とする。

ア　本公告に示した競争参加資格のない者のした入札

イ　提出した申請書等に虚偽の記載をした者の入札

ウ　別冊内容説明書、別冊契約申込心得等において示した入札に関する条件に違反した入札

エ　工事費内訳書を提出しない者等がした入札

(4)　契約後の技術提案　工事請負契約締結後、受注者は、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額の低減を可能とする工事内容の変更について、発注者に提案することができる。提案が適正と認められた場合には、設計図書を変更し、必要があると認められる場合には請負代金額の変更を行うものとする。詳細は、示方書等による。

(5)　手続きにおける交渉の有無　無

(6)　契約書作成の要否　要

(7)　当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を当該工事の請負契約の相手方との随意契約により契約する予定の有無　無

(8)　関連情報を入手するための照会窓口　上記４(1)に同じ

(9)　競争参加資格の認定を受けていない者の参加

ア　上記２(2)に掲げる競争参加資格の認定を受けていない者も上記４(3)により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時において、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。当該競争参加資格の認定に係る申請は、当機構鉄道建設本部九州新幹線建設局契約課において、随時受け付ける。

イ　上記２(9)に掲げる競争参加資格の要件を申請書等提出時において満たせない者も上記４(3)により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時において、当該要件を満たしていなければならない。

(10)　詳細は入札説明書による。

6　契約に係る情報提供の協力依頼　次のいずれにも該当する契約先は、当機構から当該契約先への再就職の状況、当機構との間の取引等の状況について情報を公開することとなりましたので、御理解と御協力をお願いいたします。なお、詳細については、入札説明書を参照して下さい。

(1)　当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等として再就職していること。

(2)　当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の３分の１以上を占めていること。

7　Summary

(1)　Official in charge of disbursement of the procuring entity : Kazutoshi Yuyama, Superintendent, Kyushu Shinkansen Construction Bureau, Railway Construction Headquarters, Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency

(2)　Classification of the services to be procured : 41

(3)　Subject matter of the contract : Construction work of the Sonogigawa Bridge

(4)　Time limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification by mail : 5 : 00 p.m. 29 January 2016 (application forms and relevant documents for the qualification brought with : 4 : 00 p.m. 29 January 2016)

(5)　Time limit for the submission of tenders by electronic bidding system : 1 : 00 p.m. 3 March 2016 (tenders brought with : 1 : 00 p.m. 3 March 2016 or tenders submitted by mail : 1 : 00 p.m. 3 March 2016)

(6)　Contact point for tender documentation : Contract Division, Kyushu Shinkansen Construction Bureau, Railway Construction Headquarters, Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency, 2―1 Gion-machi, Hakata-ku, Fukuoka-shi, Fukuoka 812―8622 JAPAN Tel 092―283―9604

入 札 公 告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

平成 27 年 12 月 22 日

東日本高速道路株式会社　関東支社

支社長　横山　正則

◎調達機関番号　417　◎所在地番号　11

1　工事概要

(1)　品目分類番号　41

(2)　工事名　横浜環状南線　釜利谷ジャンクション工事

(3)　工事場所　自）神奈川県横浜市金沢区釜利谷町

至）神奈川県横浜市金沢区釜利谷町

(4)　工事内容　本工事は、釜利谷ジャンクションにおける、釜利谷東トンネル、Ｃランプ橋・Ｆランプ橋下部工を含む延長約0.5㎞の工事である。

(5)　工事概算数量

切盛土工　250千㎥

トンネル　530m

橋梁下部工　７基

(6)　工期　契約保証取得の日の翌日から1,230日間

2　競争参加資格

(1)　東日本高速道路株式会社の契約規程実施細則第６条の規定に該当しない者であること。

(2)　土木工事において、開札時に東日本高速道路株式会社の平成27・28年度一般競争参加資格を有し、かつ、当該資格の認定の際に算定された経営事項評価点数が1,500点以上の者であること（上記の再認定を受けたものにあっては、当該再認定の際に、経営事項評価点数が1,500点以上であること。）。